

至誠館大学

科目名	地域文化 I			コード			
英語表記	Region and Culture I						
担当教員名	福田一儀・安永正夫・原田憲一・李文相			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
(1)萩市の歴史、現状、文化など、全般的な理解を深めること。 (2)社会人として安全・安心に生活するために必要な基礎的な知識を学ぶこと。							
到達目標							
(1)萩の大地の成り立ち、幕末から明治にかけての萩藩の動きと歴史的意義、萩焼を主体とした萩の文化的特徴、少子高齢化に直面する萩市の現状などについて理解を深める。 (2)交通事故や金融犯罪に巻き込まれないための基礎知識を得て、安全・安心に暮らせる力を養う。							
授業計画							
第1回	萩ジオパーク構想について(伊藤靖子・萩ジオパーク推進室)						
第2回	至誠館大学と吉田松陰(樋口尚樹・松陰神社至誠館館長)						
第3回	金融リテラシーとは(河野憲嗣・大分大学教授)						
第4回	萩焼の歴史(岡田 裕・八代萩焼窯元)						
第5回	萩城下町の秘密(清水満幸・萩博物館副館長)						
第6回	安全に暮らすために(萩警察署)						
第7回	18歳からの選挙権(萩市選挙管理委員会委員長)						
第8回	萩の世界遺産(道迫真吾・萩博物館主任学芸員)						
第9回	デートDVを防ぐために(國広美由紀・萩市男女共同推進室)						
第10回	浦上コレクションについて(鈴木浩平・県立美術館浦上記念館館長)						
第11回	税の仕組みと使われ方(萩税務署)						
第12回	国の財政および金融犯罪の防止について(中国財務局)						
第13回	健康な暮らしを守る(萩保健所)						
第14回	法律と裁判と弁護士(小林 貢・弁護士)						
第15回	至誠館大学の学生への期待(野村興兒・萩市長)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、レポートの評価、授業への参加度を総合して評価する。毎回の出席が前提なので、5回以上の欠席(公欠を含む)した場合は単位を認定しない。なお、授業態度には、遅刻やレポートの提出遅れなども含まれる。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				40	50		10
授業外学習			テキスト、教材				
講義内容について、ウェブサイト等で関連情報を調べること。配布されたパンフレット類を読み返して、内容を理解すること。			萩に関する図書のコーナーが図書館にあるので、各自で興味のある本を探してください。				
参考書			受講生へのメッセージ				
			萩への愛着心を養ってください。また、自分の身は自分で守るという自立心と自律心を養ってください。				
キーワード							